

新潟県

発行・編集

公益社団法人 新潟県看護協会新潟県ナースセンター

〒951-8133 新潟市中央区川岸町2丁目11番地 TEL025-233-6011 FAX025-265-4188

E-mail niigata@nurse-center.net

ナースセンター だより



佐渡市 「大野亀のトビシマガンゾウ」

Contents

ごあいさつ	2
ナースセンター事業実績	3
看護師等の離職時等の届出制度(とどけるん)	3
医療勤務環境改善支援センター事業・WLB推進事業	4
求人施設紹介	5
看護職員再就職支援セミナー	6
新型コロナウイルス感染症対応【潜在看護職スキルアップ研修】	7
看護職員再就職支援セミナーからのお知らせ	8
復職体験談	8
高校生一日看護師体験事業	9
県内ハローワークと連携! 看護職員再就職支援相談会開催中!	9
新潟県訪問看護総合支援センターの設置と機能強化への取り組み	10
令和4年度訪問看護関連研修の報告	11
訪問看護就業支援プログラム(インターンシップ)事業の報告	11
令和4年度 看護職員需要施設実態調査	12~15
ナースセンター支所・相談窓口紹介	16

No.57
令和5年2月発行



ごあいさつ

新潟県ナースセンター

所長 斎藤 有子

日頃より新潟県ナースセンター事業にご支援をいただき感謝申し上げます。

新潟県ナースセンターは、新潟県における看護職人材確保の拠点として、ナースバンク事業、看護職員再就業支援強化事業、訪問看護推進事業、「看護の心」普及事業、労働環境改善事業に取り組んでいます。

今年度の取り組みの概要は以下のとおりです。

看護職無料職業紹介事業は、看護職員の確保・定着支援のため、県内5か所で実施しています。ナースセンター本所（新潟県看護研修センター内）、長岡支所、上越支所の3か所、及び相談窓口の南魚沼市、柏崎市の2ヶ所です。支所、相談窓口をどうぞご活用ください。また、離職時等の届出制度の周知や登録支援についても取り組みを進めておりますが、引き続きご協力をお願いします。

看護職員再就職支援セミナーは、eラーニングによる学習、基礎1日コース、体験コース、施設見学ツアーを実施し、再就職を支援する事業を実施しています。再就職への一歩を踏み出すきっかけづくりや自分に見合った職場探しにより、再就職につながっています。

また、新型コロナウイルス感染症の対応として、宿泊療養施設の療養者の健康管理、自宅療養者の健康観察、ワクチン接種の業務等に看護職の従事が求められ、潜在看護師の復職支援を通じて看護職の確保にも貢献しています。

その中で、昨年度に新型コロナウイルス感染症業務に求職登録した方に再就職意向調査を行い、就業を希望する方に就業できるよう取り組みを進めました。今後も再就職の支援を継続してまいります。

高校生一日看護師体験事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、時間の短縮や体験内容の変更等がありましたが、多くの病院のご協力を得て実施することができました。

看護職の労働環境改善の取組は、新潟県医療勤務環境改善支援センターとの連携を図りながら、「医療従事者のワーク・ライフ・バランス推進事業」を行っております。2年目となる病院では、新型コロナウイルス感染症の対応で多忙な中、アウトリーチ（出張型支援）を受け入れていただきました。

また、看護職の労働環境相談を昨年度から実施しています。現場の課題にどう対応したらよいのか、解決策につながるよう、ご活用ください。

訪問看護推進事業については、当協会において、令和4年4月1日に新潟県訪問看護総合支援センターを設置しました。県民が住み慣れた地域で療養生活を送ることができるよう、質の高い訪問看護サービス提供体制の安定化及び推進を図ることを目的に訪問看護事業所への支援を行います。

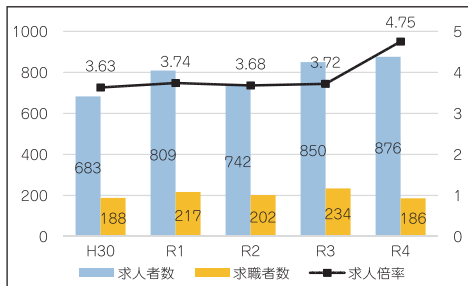
今後も、皆様に利用していただくためにきめ細やかな事業運営に心がけていきます。ご協力、ご支援をお願いいたします。

ナースセンター事業実績

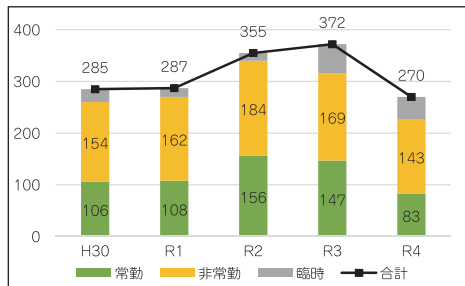
新潟県ナースセンターでは、厚生労働大臣の許可を受け、看護職無料職業紹介事業を行っています。新潟市の本所をはじめ、長岡支所・上越支所・南魚沼相談窓口・柏崎相談窓口における事業実績について以下に報告します。

●職業紹介実績（令和4年度は4月～11月末まで）

1. 求人・求職者数の推移

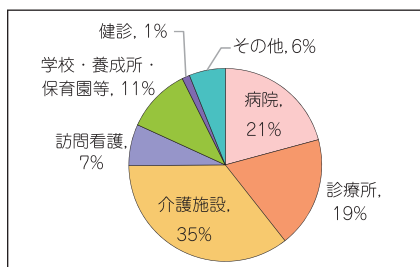


2. 就職者数の推移（人）

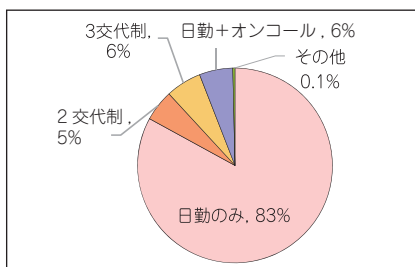


3. 令和4年度の就職者内訳（割合）

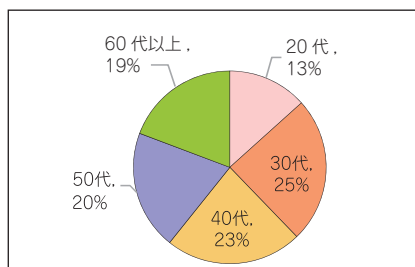
1) 就職先別



2) 勤務形態別



3) 年代別



4. 令和4年度 新型コロナウイルス感染症関連の就職者数

	地域外来 検査センター	自宅療養者 健康管理業務	ワクチン接種 業務	市町村保健所	合 計
人 数	8	3	649	1	661

看護師等の離職時等の届出制度（とどけるん）

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正（平成27年10月～）により、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をもち、病院等の職場を離職した場合などに、都道府県ナースセンターへ氏名や連絡先などを届け出ることが努力義務となっています。

「また働きたい」を
サポートします！
届出制度（とどけるん）
に登録を♡



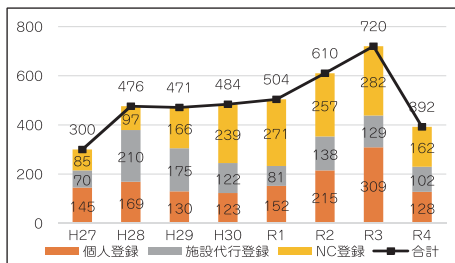
◆意外に知らない重要なこと◆ ナースセンターは、

- ①看護師等無料職業紹介所です
- ②看護職の免許をお持ちのすべての方がご利用できます

届け出ることによって離職後もナースセンターとつながりができ、求人情報や復職のための研修など、看護に関する情報が得られます。すぐに復職しない場合であっても、潜在化しないためには社会とのつながりを持ち続けることが大切です。

とどけるん

1. 届出数と届出方法の年次推移（人）



2. 全国との比較（人）

	新潟県	全国
届出数	3,899	179,608
うちe-ナースセンター登録者数	2,553	71,828
うち求人施設への応募者数	943	22,064
うち就職者数	917	18,828

施設管理者様から退職者へ届出制度への登録案内をしていただき、新潟県の登録者数は年々増加しております。届出登録者のうち、ナースセンターを利用し就職された方の割合は、全国26.2%と比較し、新潟県は35.9%と上回っています。

医療勤務環境改善支援センター事業・WLB推進事業

アウトリーチを体験して・・・JA 新潟厚生連 長岡中央総合病院

令和4年9月30日、JA新潟厚生連厚生連 長岡中央総合病院へアウトリーチ（出張型支援）をさせて頂きました。

労働環境改善への取り組み発表とワークショップを行いました。病院16人、アドバイザー（社会保険労務士会、医業経営コンサルタント、看護協会）13人、計29人が参加しました。

この度、病院代表の3人の皆様からご感想をいただきましたので、その声をご紹介します。

【労働環境改善チーム】

☞ アウトリーチを通してワーク・ライフ・バランスを推進して、すべての職員、職種が働きやすい、居心地のよい職場でありたいと思いました。医師の働き方改革は医師のみでなく、看護師はじめ、多職種の働き方に影響していることを改めて実感しました。



病院長 矢尻 洋一 様

【労働環境改善チーム】

☞ 昨年度から進める医療従事者のWLB推進事業のアウトリーチ（訪問支援）を頂きました。当該事業も着手2年目の後半に入り、纏めなり成果を出す時期であることから、看護協会派遣者からの的確・適切なアドバイスや分析はこれからの活動に対して非常に有意義なものとなりました。



事務長 渡辺 直行 様

【就業規則チーム】

☞ 多職種から構成されたワーク・ライフ・バランス推進委員会を立ち上げ、夜勤看護師のマスクの色の変更や「定時でカエルDAY」を合言葉にカエルバッジをつけ定時退社など取り組んでいることを発表しました。アドバイザーの支援を受け、現在も活動しています。



看護部長 土田八重子 様



労働環境改善チームワークショップ



アドバイザー紹介

求人施設紹介



白根保健生活協同組合 新潟白根総合病院

—— 看護師は新潟県の宝として ——

新潟市南区の病院に行ってきました！

白根保健生活協同組合新潟白根総合病院は南区地域にある地域密着型の病院です。

ベテランナースはもちろんのこと、新人、中途採用者、プラチナナースがイキイキと働いています。

新潟白根総合病院 長岡看護部長
にお聞きしました！

Q 新人ナースについて伺います

新人は、2021年度19人、2022年は14人入職しました。

新人の教育プログラムは充実しており、研修だけでは補えない部分は、プリセプターとアソシエイトがOJTを通して指導し、状況を確認しながら全員でディスカッションを行っています。みんなで情報交換をすることで、多くの仲間との交流が生まれ、仲間意識が芽生え、協力していくという雰囲気が醸成されています。

それぞれの個性や能力は違うので、のみ込みが早い人もいれば、少し慎重な人もいます。それぞれのペースにあわせて指導をしています。そのためか昨年度と今年度は新人の退職は0人です。

また、電子カルテについては、入職時に情報管理部から指導を受けます。中途採用者には2日間の演習時間を設けていますが、OJTで覚えていくのが良いと思います。

ストレスを感じることなく、わからないことは、「わからない」と発信できるように、働きやすい職場環境を各部署で目標に挙げ取り組んでいます。

Q プラチナナースについて伺います

プラチナナースの方には、個の働き方を優先し持っているスキルが発揮できる勤務配置を行っています。一昨年より63歳定年退職を迎えた看護職員全員がリタイヤすることなく、訪問看護ステーションや病棟、外来案内等で勤務しています。患者さんの生活の質を考えた支援ができる熟練の力を感じています。

Q キャリアアップについて伺います

新潟白根総合病院のビジョンをみんなで共有しています。



看護部長 長岡 敦子 様

看護の現状や当院の様子を伝えて、そのうえで専門看護師や認定看護師、特定行為研修後の看護師に活躍してもらっています。

病院の求めている看護師の育成優先事項ですが、いろんな分野への支援体制を整えているところです。

地域密着型の病院なので、地域に出て活躍するという点では、魅力を感じている職員が多いようです。「私たちの看護を外で・地域で活かそう」という考えに職員は前向きに生き生きと対応しています。自主性を大事にして、それぞれの伸びしろを上手に生かし、新潟県の宝として育てています。

インタビューを
終えて

玄関ホールでの患者様へのあいさつが優しく響きわたり、職員を大切に思い、育てていこうとする看護部長のインタビューそのものでした。
本当にありがとうございました。

(新潟県ナースセンター)

看護職員再就職支援セミナー

新型コロナウイルス感染症の状況により、中止や延期などを余儀なくされたセミナーもありましたが、基礎1日コースでは、感染対策を行いながら「看護の動向」「スキンケア」「採血・点滴」「急変時対応」「年金について」などの講義や演習を実施しました。また、見学ツアーについても、感染対策に配慮いただき、実際の現場を見ることができました！

ご協力いただいた講師の皆様、各施設の皆様には感謝いたします。

再就職支援セミナー実績

(11月末現在)

研修名	参加者数	就職者数
e-ラーニング (6月～11月)	77	15
プラチナナースセミナー (9月、10月、11月)	36	7
基礎コースセミナー (7月、10月、11月)	48	7
施設見学ツアー (7月)	4	0

※体験コースはコロナ感染状況により中止

※施設見学ツアー 11月開催予定分は、コロナ感染状況により中止



<e-ラーニング>

最新の医療・看護の知識が学べる講義や、看護技術が再確認できる動画を、オンラインで受講していただきました。

受講者の感想♪

子育て中でも日時間わず、自分のペースにあわせて最新の知識を学ぶことができ、とてもわかりやすかったです。ブランクが長いと、不安要素が大きかったのですが、役立つ情報を得ることができ、再就職を前向きに捉えることができました。

<基礎1日コース>

看護の動向についての講義や、久しぶりに触れる採血や急変時対応等の看護技術に緊張した様子もありましたが、活発な質疑応答もあり、有意義な時間となりました。

受講者の感想♪

看護の動向を知り、看護職の役割が大きいと感じ、とても勉強になりました。演習も、自分ばかり何もできないと思っていましたが、みんな不安で、たくさん仲間がいて、安心しました。ますますがんばりたいと思いました！



<プラチナナースセミナー>

40歳以上の看護職を対象として、社会保険労務士による定年後の働き方や年金についてのお話などをしていただきました。

受講者の感想♪

年金についての知識が増え、深く知る良い機会になりました。年金定期便の内容について、理解ができました！定年後の働き方についても考える機会となり、健康で元気にイキイキと、長く勤められたらいいなと思いました。

<施設見学ツアー>

看護職の働く施設は多岐にわたります。複数の施設見学・看護の仕事内容を直接確認することができ、再就職先の検討に活かれます！現場の方に直接お話を聞き、見学をすることで、参加者みなさまの再就職の後押しになっています！

受講者の感想♪

一人で見学に行くのは不安があったけど、見学ツアーは気負うことなく参加できました。実際の施設を見学したりお話を聞くことができ、働くことをイメージすることができました。質問にもたくさん答えていただき、とても参考になりました。有意義な時間でした。



訪問バッグの中も見せていただきました♪

新型コロナウイルス感染症対応【潜在看護職スキルアップ研修】

JA 新潟厚生連 新潟医療センター

感染管理認定看護師

桑原 正祐 氏



ナースセンターでは今年度、日本看護協会委託事業「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業」を受けて、潜在看護職スキルアップ研修を開催いたしました。研修では、感染管理認定看護師を講師にお迎えし、感染管理・感染対策の講義、個人防護具の着脱・採血点滴の演習を実施しました。

研修を受講した皆様のスキルアップと今後の更なる活躍を期待しております！



<講師より>

今回の「潜在看護職スキルアップ研修」では、新型コロナウイルス関連業務に携わった、または業務に興味のある看護職の参加という事でした。そのため、新型コロナウイルス感染症の実際、病院でどのように対応しているかを知ってもらう事を目指した内容としました。内容は、基本的な感染対策である標準予防策、新型コロナウイルス感染症に関連した情報提供、PPE（長袖ガウンやN95マスク等）を実際に着用しての演習などボリュームが多くなってしまいました。それでも参加された方々は、残暑が残る9月の開催にもかかわらず、暑期中積極的に取り組んでいました。頭も体も疲れている中、研修後に多くの質問をいただき、私自身『看護職の芯の強さ』を改めて感じる事ができる機会となりました。

新型コロナウイルス感染症は未だ終息を見せず、耐え忍ぶ日々が続きます。そして、新興感染症はまたやってきます。その時にも『看護職の芯の強さ』で、必ずや乗り切ることでしょう！

受講者の感想♪

あらためて手洗い・感染対策の大切さを学び、コロナに対しての不安軽減と知識を深めることができました。個人防護具着用による暑さや息苦しさ、動きにくさを体感でき、現場の厳しさを知ることができました。

緊張感のある研修で、難しいと思える内容も、現状を踏まえながらの説明で、ユーモアも取り入れたわかりやすい説明でした！再就職へ少し自信ができました！今後の現場に活かしたいと思います！

今回の学びを同僚にも伝えていきたいです。



看護職員再就職支援セミナーからのお知らせ



～看護職をお探しの管理者の皆様～

看護職員再就職支援セミナー 施設見学コース・ミニ体験コースに ご協力くださる施設を募集します

新潟県ナースセンターでは、再就職支援事業の一環として、医療施設および高齢者・福祉施設等での再就職を目指す未就業看護職を対象に、知識・技術の確認や各施設における看護職の役割の理解を深め、資質の向上を図るとともに再就職を支援することを目的とし、標記セミナーを実施しています。

自施設のPRの場としてもご活用いただけます。ぜひ、受け入れにご協力をお願いいたします。

※注意※ 見学コース・ミニ体験コースは、年間開催回数が限られております。
そのため、応募多数の場合は、地域や日程を考慮し、調整させていただきます。
(調整の結果、申込をお受けすることができない場合もございます。あらかじめご了承ください。)

＜詳細・お申込みは、新潟県ナースセンターのホームページをご覧ください＞

復職体験談

新潟県ナースセンターでは、再就職のお手伝いをしています。転居してきた方、スキルアップのための転職希望など事情は様々ですが、2022年4月から11月までのナースセンターご利用で270名の方が就職につながりました。

ナースセンターを通じ新しい職場で生きいきと働きはじめています。近況をお伺いしました。



J A 新潟厚生連 上越総合病院
看護師 関 愛 さん

夫の仕事のため2年間海外で暮らし、帰国後の就職活動に対して不安を抱えていました。そんな時に友人からナースセンターを紹介してもらい、相談に伺いました。

数年間のブランクや子育てとの両立など課題があったため、幾つかの就職先の中で私の気持ちは揺れ動いていましたが、担当の方々は私の気持ちに寄り添い、電話やメールで親身になって相談に乗って下さいました。

現在、希望の病院に就職し外来部門で日々奮闘しております。病棟勤務時には経験したことのない特殊な看護技術を行うこともありますが、周囲のみなさんが優しくサポートして下さいるので安心して働いています。

一人ひとりの患者さんと接する時間は短いですが、その中でも適切にアセスメントし安全な看護を提供できるよう精進していきたいです。



高校生一日看護師体験事業

高校生が看護に対する認識と理解を深め、進路選択にあたり看護体験をととして、看護の道を志すきっかけづくりになることを目的に毎年実施しています。令和4年度は当初95病院での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった病院も多く、33病院での開催・227名の参加となりました。感染拡大の中、リモートでの看護体験を取り入れるなど、工夫されながら実施していただいた佐渡総合病院の望月 結花看護部長に感想をお伺いしました。

「高校生一日看護師体験 ～受け入れ病院より～」

JA 新潟厚生連 佐渡総合病院
看護部長 望月 結花

令和4年8月3日(水) 20名の島内高校の学生の皆様を対象に看護師体験事業を実施いたしました。新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、当初は開催を見合わせようかとも考えましたが、多くの学生の皆様の期待に沿えるよう何とか実施したいと考え、zoomを活用したリモート体験に挑戦いたしました。医療、看護の現場の様子や看護職への進路に関する情報など、動画や資料を工夫しながら臨場感豊かに伝わるよう努力しました。

看護体験では、コロナ禍の中、看護職者とその専門的知識・技術を基に、医療の最前線で住民の健康を守るために活躍している実態を体験してもらいたいと、防護具の着脱体験を実施いたしました。各高等学校の先生方のご理解、ご協力で、学生の方に防護具を配布し、感染管理認定看護師2名の指導でリモート越しに体験を行いました。

「こんなに暑い状態でもケアしているなんて、息をするのも苦しいのに看護師達はすごい!!」「きちんとした知識が必要な仕事だと感じた」など、コロナ禍に負けず患者の命と向き合う看護師の様子を思い描き、私達が学生の皆さんからエールをもらえた一日でした。



「参加した高校生からの声」

- リモートでの参加でしたが説明が分かりやすく、看護職についてとても良く伝わってきました。高齢化についても理解しやすかったです。体験に参加し、さらに看護について興味が深まりました。
- ガウンや手袋、キャップを実際に装着してみてほんの数分でも暑くて大変だったのですが、看護師さんはこの状態で患者さんのために動いていてとてもかっこいいと思いました。私も人の役に立てる看護師になりたいと思いました。



感染拡大の中、ご協力いただきました関係者の皆様には感謝申し上げます。

県内ハローワークと連携！ 看護職員再就職支援相談会開催中！

看護職員再就職支援相談会は、新潟県内ハローワークと新潟県ナースセンターが連携して開催しています。

再就職に向けた相談や求人等の情報提供、再就職支援セミナーの案内、資格取得に向けた相談等について、ナースセンターの相談員（看護職）が各地のハローワークに出向き、親身になって対応します。

★申し込み先：ハローワーク各窓口（予約制）

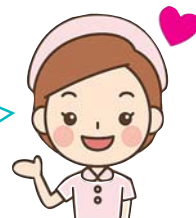
★相談日程：お近くのハローワークにお問い合わせ・新潟県ナースセンターホームページにて掲載中

【看護の就職応援セミナー】も開催しました！

今年度は、訪問入浴と訪問看護のお仕事・看護の魅力について、お話を伺いました。



相談・セミナーはどちらも参加無料です♪
お気軽にご参加ください。
（予約制）



新潟県訪問看護総合支援センターの設置と機能強化への取り組み

新潟県看護協会 常務理事 青柳 玲子

我が国は少子化に加え超高齢多死社会を迎えており、疾病構造が変化し、医療機関から地域への療養の場への変化も進んでいます。2040年に向け在宅医療が推進される中で、特に、質の高い24時間訪問看護提供体制の構築が求められています。これらの人びとや地域のニーズに応える訪問看護を提供するためには、一人ひとりの看護職の質の向上だけでなく、看護の質を保証する取り組みやサービス提供体制の整備が必要です。これまで本会では、ナースセンター課・訪問看護推進課を中心に、訪問看護推進事業に取り組んできました。その中で、①訪問看護師の安定的な人員確保、②中重症者の24時間在宅療養を支えるための看護提供体制の整備、③訪問看護の質の向上、④経営の安定化への支援などの課題が明らかになっています。

本会では、このような多岐にわたる訪問看護の課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点を整備する方針を打ち出し、「新潟県訪問看護総合支援センター（以下、支援センター）」を、令和4年4月本会組織内に設置しました。その具体的な事業概要については下記のとおりです。

令和4年度重点の取り組みとして、看護学生に訪問看護の魅力発信の事業や訪問看護関連研修の体系化等に力を入れています。具体的には、訪問看護就業支援プログラム（インターンシップ）事業は8名の看護学生から活用して頂きました。また、訪問看護従事者研修会（新任者編）は公益財団法人日本訪問看護財団eラーニングを併用し、訪問看護の基礎について系統立てて学べる形としました。さらに、多くの地域包括支援センターや病院、訪問看護ステーションの多大なるご協力のもと、3つの研修コースに施設実習を取り入れ内容を充実させたことにより、次ページのとおり、多くの学びを得たとの感想を頂いています。

今後は、訪問看護ステーションの量的・質的双方の人材確保の課題を解決するため、事業所内における新任訪問看護師の教育体制を整備するとともに、事業所運営の安定化を目指し規模の拡大や機能の充実を図り、職員が安心して働き続けられる職場環境の改善や人材育成体制の整備が急務であると考えます。その実現に向けて、新潟県や新潟市、関係機関との連携を図り、効果的かつ安定的な訪問看護提供体制の整備に向けて支援センター機能や役割を強化し、訪問看護への支援体制のさらなる充実につなげてまいります。

* 新潟県訪問看護総合支援センター事業の概要 *

1 訪問看護ステーションの人材確保促進

- ①訪問看護就業支援プログラム（インターンシップ）事業
- ②訪問看護教育プログラム体験研修
- ③潜在看護師・プラチナナース等の就業および転職促進
- ④ナースセンターと連携して行う訪問看護の周知および就職斡旋・相談対応
- ⑤行政と現状の課題について共有および方策の具体化
- ⑥離職防止対策の検討

2 事業所運営基盤整備支援

- ①訪問看護ステーション運営アドバイザー事業
- ②訪問看護師育成サポート研修
- ③新規開設および事業所機能の拡大を目指す事業所への支援

3 教育研修実施体制の体系化

- ①訪問看護関連研修の体系化
- ②新任者育成のためのマニュアルおよび関係機関との連携による研修体制の整備
- ③新卒看護師採用に向けた取り組み

4 事業者・利用者向け相談支援

- ①事業者向け相談対応
- ②利用者・住民向けの相談対応
- ③訪問看護事業に関する相談対応についてQ & Aの作成

5 訪問看護に関する関係機関との連携促進

- ①訪問看護推進協議会において訪問看護に関する課題検討
- ②訪問看護ステーション協議会との連携によるネットワークづくり
- ③新潟県在宅医療推進センター等関係機関との連携

6 訪問看護の周知・啓発

- ①周知啓発用リーフレット活用
- ②関係機関、地域住民への出張周知啓発活動

7 訪問看護に関する情報分析

- ①訪問看護実態把握に関する調査

令和4年度 看護職員需要施設実態調査

I 調査概要

1. 目的：本調査は、新潟県内に住所を有する看護職員の需要施設の実態を調査し、需要施設の充足を図るとともに未就業看護職員の就業を促進することを目的とする。
2. 調査対象：新潟県内に住所を有する病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、訪問看護ステーション、診療所（ただし歯科診療所を除く）1,869施設
3. 調査期間：令和4年8月15日～9月16日
4. 調査方法：調査対象施設に調査票の配布、調査票による紙面回答またはWeb回答

II 調査結果

1. 施設別の回答状況

- ・調査対象の1,869施設のうち、回答数642施設、回答率34.3%であった。
- ・施設別の回答状況では、「病院（200～399床）」が85.3%で最も多く、次いで「病院（199床以下）」77.1%、「訪問看護ステーション」69.0%、「病院（400床以上）」68.8%の順であった。
- ・「診療所」、「介護老人保健施設」、「介護老人福祉施設」からの回答は25～30%台であった。

	病院(199床以下)	病院(200～399床)	病院(400床以上)	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	訪問看護ステーション	合計
調査対象施設数	70	34	16	1,191	96	291	171	1,869
回答施設数	54	29	11	305	24	101	118	642
回答率	77.1%	85.3%	68.8%	25.6%	25.0%	34.7%	69.0%	34.3%

2. 令和3年度の退職状況について

1) 令和3年度の施設別退職状況と離職率

- ・施設別で最も離職率が高かったのは、介護老人福祉施設で18.9%で、特に60代の退職者数が多かった。次に多かったのは、訪問看護ステーション12.0%で40～50代の退職が多く、病院（200～399床）が10.6%、病院（199床以下）10.1%の順であり、離職率が10%を超える結果であった。
- ・病院では20～30代の退職が多く、全体の退職者数でも20～30代が半数以上を占めた。

	在籍数(人)	退職者数(人)						離職率
		20代	30代	40代	50代	60代	合計	
病院(199床以下) n=54	4414.5	111	98	66	58	112.8	445.8	10.1%
病院(200～399床) n=29	4949.9	154	145.8	116.5	37	72.8	526.1	10.6%
病院(400床以上) n=11	4890.8	169	82	41	39	48	379	7.7%
診療所 n=305	1091.2	10.2	21	23	25	23	102.2	9.4%
介護老人保健施設 n=24	297.1	3	3	8	7	5	26	8.8%
介護老人福祉施設 n=101	568.5	8	15	12.9	26	45.3	107.2	18.9%
訪問看護ステーション n=118	701.7	8	13	27	23	13	84	12.0%
合計 n=642	16913.7	463.2 27.7%	377.8 22.6%	294.4 17.6%	215 12.9%	319.9 19.2%	1670.3 100%	9.9%

2) 令和3年度退職者の退職理由（複数回答・n=退職があったと回答した施設のみ）上位5位

	退職理由	割合
1位	転職（他施設・他分野への興味）	39.1%
2位	定年	29.0%
3位	転居	28.0%
4位	健康上の理由（身体面）	27.7%
5位	健康上の理由（精神面）	20.5%



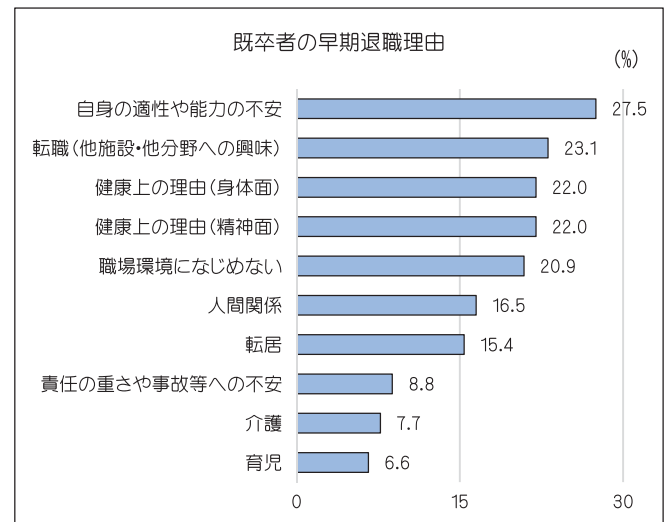
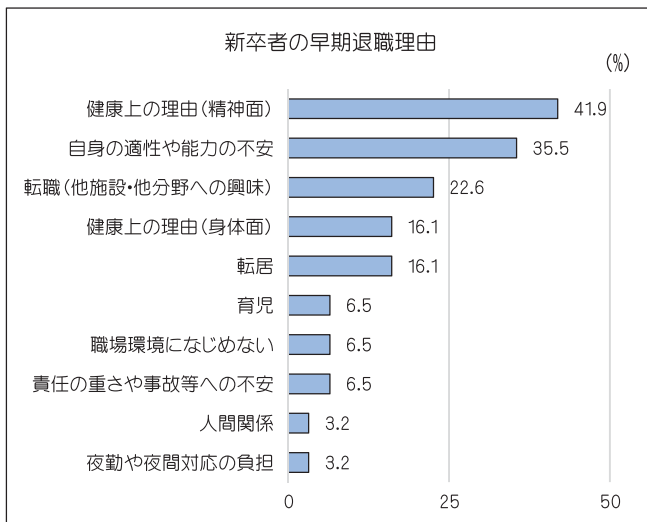
3) 令和3年度採用者の採用年度内の早期退職状況（施設別）

- ・新卒採用者の早期退職について、離職率が最も高かったのは訪問看護ステーションで37.5%、次いで診療所15.4%、介護老人福祉施設12.5%であった。新卒の早期離職率の平均は8.0%であった。
- ・新卒の早期退職者数が最も多かったのは、病院（400床以上）22人で、新卒早期退職者数の約4割を占めた。
- ・既卒採用者の早期退職では、離職率が最も高かったのは介護老人保健施設22.2%であった。次いで介護老人福祉施設17.3%、病院（200～399床）が16.7%であった。既卒の早期離職率の平均は13.2%であった。
- ・既卒の早期退職者数が最も多かったのは、病院（200～399床）34.8人であった。

	新卒の 採用者数	新卒早期 退職者数	離職率	既卒の 採用者数	既卒早期 退職者数	離職率	採用者数 合計	退職者数 合計	離職率 合計
病院（199床以下）n=54	167	11	6.6%	270.6	27	10.0%	437.6	38	8.7%
病院（200～399床）n=29	239	16	6.7%	208.6	34.8	16.7%	447.6	50.8	11.3%
病院（400床以上）n=11	260	22	8.5%	137	9	6.6%	397	31	7.8%
診療所 n=305	19.5	3	15.4%	127	17.2	13.5%	146.5	20.2	13.8%
介護老人保健施設 n=24	0	0	0%	36	8	22.2%	36	8	22.2%
介護老人福祉施設 n=101	8	1	12.5%	127	22	17.3%	135	23	17.0%
訪問看護ステーション n=118	8	3	37.5%	109	16	14.7%	117	19	16.2%
合計 n=642	701.5	56	8.0%	1015.2	134	13.2%	1716.7	190	11.1%

4) 令和3年度早期退職者の退職理由（複数回答）上位10位

- ・新卒の早期退職理由では、「健康上の理由（精神面）」が最も多く41.9%、次いで「自身の適性や能力の不安」35.5%、「転職（他施設・他分野への興味）」22.6%、「健康上の理由（身体面）」16.1%であった。
- ・既卒の早期退職理由では、「自身の適性や能力の不安」が27.5%と最も多く、次いで「転職（他施設・他分野への興味）」23.1%、「健康上の理由（身体面）」22.0%、「健康上の理由（精神面）」22.0%、「職場環境になじめない」20.9%の順であった。



3. 確保・定着について（上位10位まで n=642）

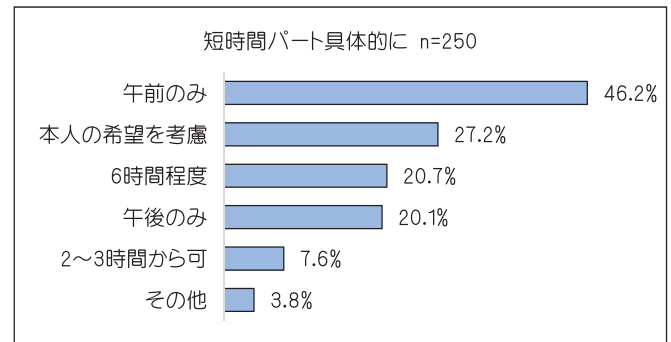
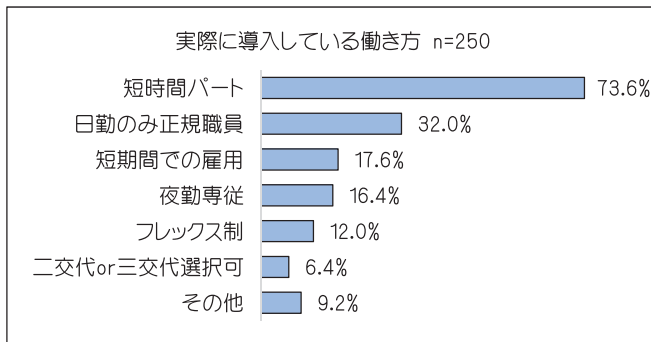
1) 確保・定着のために実施しているもの（複数回答）

- ・最も多かったのは「有給休暇の取得しやすさ」で62.5%が実施していると回答した。次いで「多様な勤務形態の導入」38.9%、「既存業務の整理・見直し・業務改善」が34.9%であった。

1位	有給休暇の取得しやすさ	62.5%	6位	給与・手当の増額	28.2%
2位	多様な勤務形態の導入	38.9%	7位	福利厚生の実施	26.3%
3位	既存業務の整理・見直し・業務改善	34.9%	8位	病気療養休暇・治療との両立支援	21.0%
4位	休暇制度の実施	33.6%	9位	能力に見合った部署への配置・役割分担	20.9%
5位	外部研修への参加支援・費用補助	29.8%	10位	施設内研修の実施	20.2%

2) 1) で「多様な勤務形態の導入」と回答した施設へ、実際に導入している働き方について（複数回答）

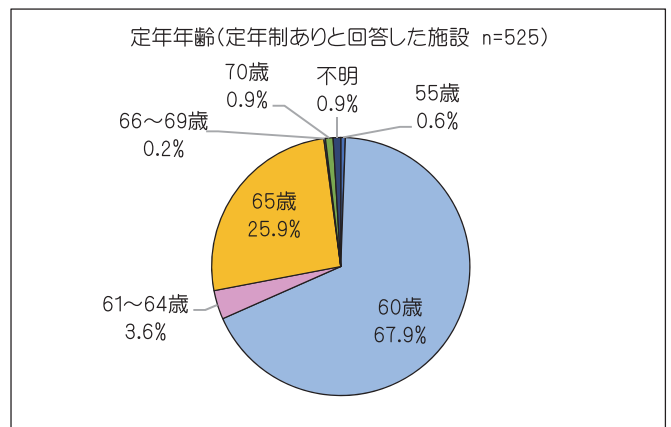
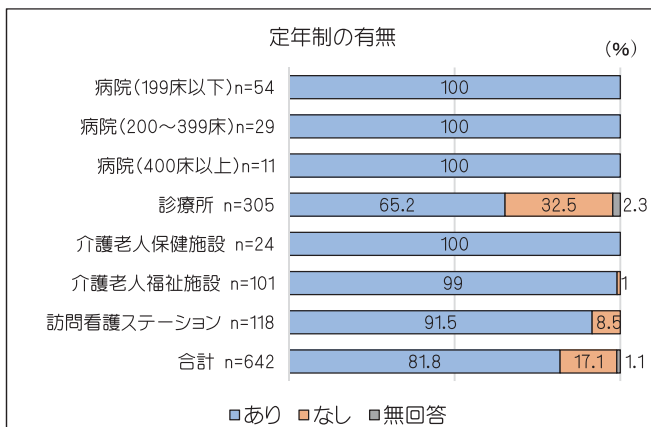
- ・実際に導入している働き方では、「短時間パート」が最も多く73.6%、次に「日勤のみ正規職員」32.0%、「短期間雇用」17.6%、「夜勤専従」16.4%であった。また、短時間パートの最も多い働き方は「午前のみ」46.2%、次いで「本人の希望を考慮」が27.2%であった。



4. プラチナナースの雇用状況について

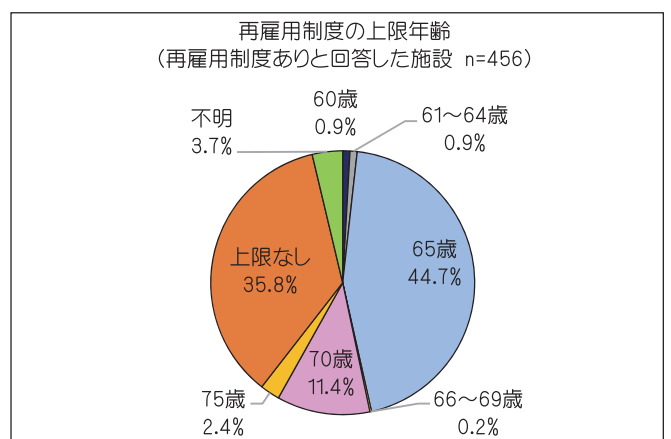
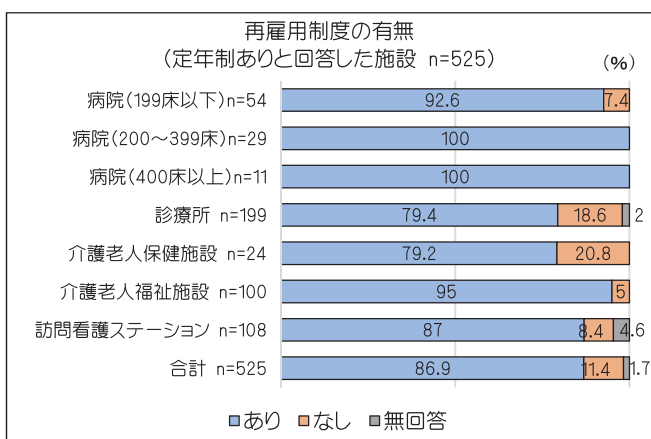
1) 定年制はありますか

- ・定年制ありと回答した施設は642施設中525施設（81.8%）であった。
- ・病院、介護老人保健施設では100%であった。介護老人福祉施設、訪問看護ステーションでも9割以上が定年制ありと回答したが、診療所では305施設中99施設（32.5%）が定年制なしと回答した。
- ・定年制を定めている場合の定年年齢では、60歳が67.9%で最も多く、次いで65歳が25.9%であった。



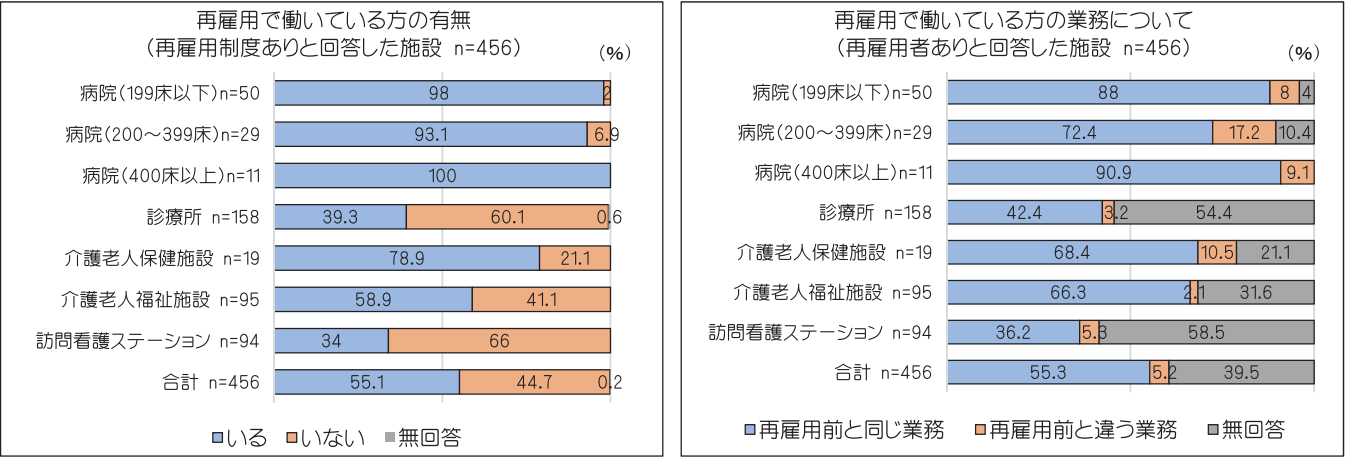
2) 再雇用制度はありますか

- ・定年制ありと回答した施設のうち、再雇用制度のある施設は525施設中456施設（86.9%）であった。
- ・病院（200～399床）、病院（400床以上）では100%であった。
- ・再雇用制度の上限年齢について、最も多かったのは65歳で44.7%、次に多かったのは上限なし35.8%であった。



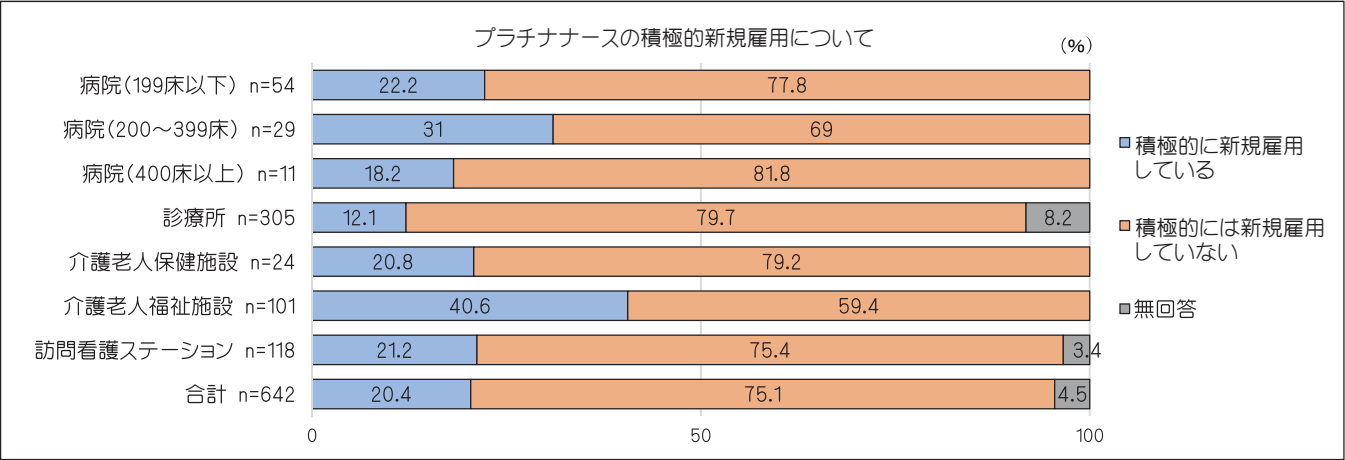
3) 再雇用制度による雇用状況

- ・再雇用制度で働いている方の有無について、病院では9割以上、介護老人保健施設では約8割、介護老人福祉施設では約6割の施設で再雇用者がいると回答した。診療所、訪問看護ステーションでは、再雇用者がいると回答した施設は30%台であった。
- ・再雇用で働いている方の業務では、「再雇用前と同じ業務をしている」と回答した施設が全体の55.3%と最も多かった。



4) プラチナナース (定年前後の看護職) の積極的新規雇用について

- ・プラチナナースの新規雇用について、「積極的に新規雇用している」と回答したのは642施設中131施設 (20.4%) で、7割以上の施設が積極的新規雇用をしていないと回答した。
- ・施設別でみると、「積極的に新規雇用している」と回答した割合が一番高かったのは介護老人福祉施設 40.6% で、最も低かったのは診療所で12.1%であった。



5. 中途採用者に対する指導体制について (複数回答 n=642)

- ・中途採用者の指導について、「本人の能力・ペースに合わせた指導を行っている」が71.3%で最も多かった。次に「丁寧な指導を心がけている」53.3%、「一人立ちするまで指導者をつけている」49.1%であった。

1位	本人の能力・ペースに合わせた指導を行っている	71.3%
2位	丁寧な指導を心がけている	53.3%
3位	一人立ちするまで指導者をつけている	49.1%
4位	定期的に面談を設け、不安や悩みに対しフォローしている	42.4%
5位	自施設の教育プログラムに基づき指導している	28.7%



結果全文については新潟県ナースセンターのホームページに掲載予定です。お忙しい中ご協力いただきました施設の皆様には感謝申し上げます。

ナースセンター支所・相談窓口紹介

お近くの相談所をぜひご活用ください！
来所相談は予約制です。

予約フォームはこちら



上越支所（上越市市民プラザ2F）

- 開設日：毎週火・木曜（祝日除く）
- 開設時間：10:00～15:00



看護職としてもう一度チャレンジしてみませんか。
ハローワークと連携していて、皆様のライフサイクル等に合わせた働き方・場所が見つかるかも知れません。WEBで予約可能です。お気軽にお立ち寄りください。
（相談員：渡辺・徳永）

●住所：上越市土橋 1914-3 ●電話：070-2175-6014 ●E-mail：nc6014@niigata-kango.com

長岡支所（さいわいプラザ別棟2F）

- 開設日：毎週火・木曜（祝日除く）
- 開設時間：10:00～15:00



「さいわいプラザ」の別棟2階で相談を受けています。
相談は、WEBからご予約や、電話等の相談予約方法を利用して来所して頂いております。
相談に来られた方の話をしっかり聴いて、希望の職場に採用して頂けるようお手伝いをさせていただきますので、お気軽に連絡してお出で下さい。（相談員：安斎・高梨）

●住所：長岡市幸町 2-1-1 ●電話：0258-86-5333 ●E-mail：ncnagaoka@niigata-kango.com

柏崎相談窓口（柏崎市役所内）

- 開設日：毎週火・木曜（祝日除く）
- 開設時間：10:00～15:00



開設場所は柏崎市役所新庁舎にあります。ナースセンターでは、相談者に希望分野や働き方など条件に合わせて再就職に繋げるお手伝いをしています。また、就業中の方の仕事の悩みや、柏崎地域以外への就職希望への対応もしています。ブランクがある方や、お子様連れでも大丈夫です。お気軽にお問い合わせください。皆様のご利用お待ちしております。（相談員：坂井）

●住所：柏崎市日石町 2-1 ●電話：070-2171-6013 ●E-mail：nc6013@niigata-kango.com

南魚沼相談窓口（南魚沼市図書館内）

- 開設日：毎週水曜（祝日除く）
- 開設時間：10:00～15:00



毎週水曜日に南魚沼市図書館の一室をお借りして開設しています。
魚沼地域の求人情報を知りたい方、悩みを抱えてお仕事されている方、無料の相談窓口です。
お気軽にお越しください。（相談員：高野）

●住所：南魚沼市六日町 101-8 ●電話：070-2175-6012 ●E-mail：nc6012@niigata-kango.com

本所

公益社団法人 新潟県看護協会
新潟県ナースセンター

- 開設日：毎週月～金曜（祝日除く）
- 開設時間：9:30～12:00
13:00～16:00

ナースセンターは、看護職の定着・確保の「総合拠点」になることを目指して、看護職の様々な悩み、就職相談に応じています。また、復職に不安のある看護職のために、各種研修を実施していますので、お気軽に来所・ご相談ください。

●住所：新潟市中央区川岸町 2-11 新潟県看護研修センター内 ●電話：025-233-6011
●E-mail：niigata@nurse-center.net



新型コロナウイルス感染症離職相談窓口の設置について

新潟県看護協会は、新型コロナウイルス感染症に関する業務に就業する看護職からの離職に関する相談窓口を設置しています。
新型コロナウイルス感染の対応での仕事の悩み、退職を考えている方、風評被害や偏見で仕事を辞めたいなど、お気軽に電話ください。

- 期間：2022年5月17日～2023年3月まで
- 相談日：毎週火・水・金曜日
（祝祭日および年末年始は除く）
- 相談時間：9:00～12:00、13:00～16:00
- 電話番号：070-3799-2550

☆新潟県ナースセンターホームページにて求人情報掲載中！ぜひご覧ください！☆